

不登校国際フォーラム

諸外国の不登校対策から考える「学びの保障」

日本においては、小中学校における不登校児童生徒数が増加をしています。この傾向は日本のみならず、コロナ禍以降、他の国においても見られています。こうした状況を踏まえ、本フォーラムでは、OECDによる不登校に関する国際的な分析の結果等と併せて、日本、米国（ロードアイランド州）、英国、ノルウェーにおける不登校の現状、課題

認識や具体的な対策等について学びます。

その上で、学校教育の本質的重要性を踏まえ、諸外国の不登校対策への理解を深めつつ、誰一人取り残されない学びの保障に向けて、不登校に関する課題解決方策の在り方を検討する一助とすることを目的とします。

2025年12月10日(水)

13:00～17:10 (開場・受付: 12:30開始)
会場／泉ガーデンギャラリー 東京都港区六本木1-5-2

参加費無料

参加方法

対面 150名 / オンライン 1000名

*YouTube Liveでの配信を予定しております。配信ツールは変更になる可能性もあります。ご了承ください。

申込み受付期間

2025年10月31日(金)～11月30日(日)

お申し込みは先着順に受付いたします。定員に達し次第受付を終了いたします。



お申し込みフォーム
(日本語)



お申し込みフォーム
(英語)

アクセス

Google Map は
こちら



詳細はHPでもご確認いただけます。

初等中等教育局児童生徒課
生徒指導室



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

プログラム

※日・英同時通訳あり

13:00

主催者挨拶・趣旨説明

13:10 – 15:15

【第一部】 基調講演(各国25分、計125分)

①OECD ②日本 ③アメリカ ④イギリス ⑤ノルウェー

15:15 – 15:30

休憩

15:30 – 17:00

【第二部】 パネルディスカッション(90分)

「学校教育の本質的重要性を踏まえた不登校に関する課題解決方策について」

17:00

閉会挨拶

※プログラムは変更になる可能性があります。

登壇者プロフィール



OECD パウロ・サンティアゴ【OECD】

経済協力開発機構(OECD) 教育・スキル局 政策助言・実施課長

パウロ・サンティアゴ氏は、OECD教育・スキル局における政策助言・実施課の課長として、加盟国およびパートナー国に対し、教育政策全般に関するエビデンスに基づく助言を主導している。これには、初等・中等教育から高等教育まで、教育のあらゆる分野が含まれる。

サンティアゴ氏は2000年にOECDに入局し、教育・スキル局のアナリストとして、教員政策、高等教育政策、教育における公平性、教育評価とアクセスメント、学校教育における資源活用、教育資金など、幅広い教育政策分野を対象とした国際比較レビューを数多く担当してきた。これらの取組を通じて、OECDの政策指針、包括的な分析の枠組み、今後のデータ収集のための開発的作業、そして各国の実践に関する豊富な知見を有している。また、これまでに25か国以上において、教員政策、高等教育政策、教育評価政策、学校資源活用に関するレビューを主導している。

ノースウェスタン大学にて経済学の博士号を取得。



アメリカ ブライアン・ダロウ【アメリカ】

ロードアイランド州教育省(RIDE)イノベーション・改善・データ部門チーフ

ブライアン・ダロウ氏は、戦略的リーダーシップとデータに基づく改善を通じて、教育システムの変革に取り組んできた豊富な経験を持つ州教育のリーダーである。

現在、ロードアイランド州教育省(RIDE)においてイノベーション・改善・データ部門チーフとして、データ活用と継続的な改善の推進を担い、全米でも先進的な取組である #AttendanceMattersRI キャンペーンを主導している。

この州全体の取組は、教育関係者、家庭、地域社会が一体となって慢性的な欠席の削減に取り組み、「毎日登校すること」の大切さを広く伝えることで、生徒の学習成果の向上を目指している。

また、ダロウ氏はロードアイランド州における学校および学区の改善支援、評価、データ分析などの業務全般を統括している。

これまでに、ロードアイランド州教育省において戦略担当チーフ、首席補佐官、カレッジ&キャリア・レディネス部門ディレクターなどの上級職を歴任。さらに、ルイジアナ州教育省ではポートフォリオ・エグゼクティブ・ディレクターを務めた。

エール大学経営大学院プロード・センター公共教育マネジメント修士課程の第1期卒業生であり、キャリアの初期にはルイジアナ州で高校数学教師として教育現場に携わった。



イギリス ソフィー・テイラー【イギリス】

英国教育省 教育関与・就学支援・福祉担当課長

イングランド全土における学校出席率の向上に関する教育省の取組を統括。また、入学制度、通学支援、放課後保育、行動支援、停学・退学、学校給食、ライフスキル教育など幅広い分野を所管。すべての子どもたち—特に弱い立場にある子どもたち—が、落ち着いた支援的な学校環境のもとで教育に十分に参加できるよう支援している。



ノルウェー リンダ・エイクリンド・ブライエン【ノルウェー】

ノルウェー教育訓練局 教師能力開発課 幼稚園・学校環境担当課長

2018年より教育訓練局に勤務。教育現場において20年以上の経験を有し、教師および学校リーダーとして従事。不登校の予防および対応に関する国家レベルの専門指針の策定に参画。長年にわたり、幼稚園や学校が安全で良好な教育環境を整備するための支援を行う学習環境プロジェクトを主導。

また、学校や放課後プログラムが安全で良好な環境づくりに取り組む際に活用できるデジタル能力開発パッケージの開発を指揮。



日本 千々岩 良英【日本】

文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課長

2002年文部科学省入省。以後、初等中等教育局・高等教育局、福岡県教育庁、在ジュネーブ国際機関日本政府代表部、東京オリンピック・パラリンピック担当大臣秘書官などを担当。2023年、不登校対策「COCOLOプラン」の策定に参画。2024年4月より現職。不登校やいじめなど生徒指導に関する政策を担当。